

● 草の根パートナー型

平成24年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ケニア共和国
2. 事業名	ケニア共和国マチャコス地方マシंगा県マシंगा郡キバー・マシंगा区での住民への基礎教育を通じた参加型子どもの健康・教育保障事業
3. 事業の背景と必要性	対象地域では、干ばつや貧困化の影響により、子どもたちの健康や教育に深刻な被害を及ぼしている。元来、住民は、干ばつに見舞われ食料に困窮している状況下でも、耕作することで生活をつなぎ、協力して小学校を作ってきた人々である。しかし、内外の援助者は、住民に対して当面の状況を満たす短期的な援助を積み重ねてきた。その結果、住民は「条件のよい援助」を待つ受け手となり、主体的に課題の解決に取り組む意欲・能力、そして自らの力で子どもの健康と教育を保障する意識や知識・技能が脆弱になってしまった。このなかで、子どもの教育や健康を保障していくには、自律的に実現可能な解決・緩和の方策をたて、それを実行していく意欲を取り戻す必要がある。
4. プロジェクト目標	行政官・教員・保護者・住民が、子どもの健康と教育に関する課題の解決能力を身につける。
5. 対象地域	ケニア共和国マチャコス地方マシंगा県マシंगा郡キバー・マシंगा区
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：キバー・マシंगा区の大人：約16,500人 間接受益者：キバー・マシंगा区の子ども：約18,200人
7. 期待されるアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 教育区、区レベルで、行政官が主催する関係者会議が、子どもの健康と教育に関する課題を検討する機能をもつようになる。 2. 研修に参加した教員が、学校で子どもの健康とライフスキルの向上につながる教授能力を身につける。 3. 研修に参加した保護者が、学校で子どもの健康と教育環境の向上につながる能力を身につける。 4. 育成された地域保健ボランティア (CHV) が、地域の保健活動を実践する能力と意欲を身につける。 <活動> 1. 行政官との計画・実施・評価 2. 教員への研修と学校での実践 3. 保護者への研修と学校での実践 4. 住民への保健研修と保健リーダー育成
8. 実施期間	2013年10月～2018年2月 (4年5ヶ月間)
9. 事業費概算額	51,567千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネージャー1名、国内調整員1名、プロマネ補佐1名、現地調整員 (日本人) 1名、現地調整員補佐 (日本人) 3名、現地調整員 (ケニア人) 3名、現地調整員補佐・通訳 (ケニア人) 6名、事業テーマ別専門家 (日本人) 3名、ケニア人専門家11名の計30名を配置する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)
2. 活動内容	1998年より、ケニアの村落地域・スラム地域で、教育・環境・保健分野での地域住民の社会能力向上に基づいた自律的総合的な社会開発事業を実施している。